



# くるほねっ子

平成30年度  
黒保根小学校 学校だより  
第8号  
平成30年5月31日(木)  
〈文責〉校長

**今年度も、稲作学習、順調です！**

## 田植えが終わりました

今年度も、4・5年生が稲作学習に取り組んでいます。先週、保護者の皆様、地域の皆様の御協力をいただき、田植えが無事に終了しました。これまでの子どもたちの取組を紹介します。

3月6日に、昨年度の4・5年生が、堆肥まきをしてくれました。農業支援隊長の星野さんにお世話になり、運んでいただいた堆肥を、田んぼ全体にまきました。また、5月9日には、4・5年生が肥料をまきました。どちらも、水を入れる前に欠かせない大切な作業です。準備の段階から、子どもたちは一生懸命に作業に取り組みました。



【堆肥まきの様子】

4月25日には、学校支援隊長の大塚さん、育苗センターの方々にお世話になり、4・5年生が種籾まきを体験しました。苗箱の土を湿らし、均等に種籾をまいて、土をかけ平らにします。育苗センターでは機械が行う作業を、子どもたちは手作業で体験させていただきました。2回目となる5年生は昨年度のことを思い出しながら、はじめてとなる4年生は、5年生の作業の様子を見ながら、みんな真剣な表情で取り組んでいました。



【種籾まき】

そして5月25日(金)、例年通り西町インターナショナルスクールの5年生を迎えて、農業支援隊の皆様のお世話になり、4・5・6年生が田植えを実施しました。

朝、4・5年生が育苗センターから自分たちで種籾まきをした苗を運び、西町の子どもの到着を待って田植えが始まりました。6年生が英語を交えて手順を説明し、植え始めました。5・6年生は手慣れた手つきで、はじめての4年生も西町の子どものと一緒に楽しそうに植えていました。今年は西町の子どもの人数も多く予定した時間よりも早く植え終わりました。最後に5年生が支援隊の皆様と一緒に、植え直しなど整える作業もできました。



稲作学習は、黒保根の伝統・文化を学ぶ、子どもたちにとって大変貴重な学習であると考えています。今後も子どもたちが草取りや水の管理なども行いますが、稲刈り・脱穀を経てもちつきまで、一つ一つを単なるイベントではなく、一貫した稲作学習として、子どもたちが大きな学習成果を得られるよう支援していきます。

この田植えに至るまでも、支援隊長の大塚さんには様々な御指導をいただきました。また、田起こしや畦塗り、代掻きなど、ずっと御支援いただいている新井さんにお世話になりました。ありがとうございました。地域の方々には大きな御協力をいただいていることを忘れずに、今後も稲作学習に取り組んでいきたいと思っております。